

～目次～

## 【1】TKK活動

## 【2】加盟団体の活動

## 【3】行政、他団体の活動

## 【4】新コーナー「行ってきました、聞いてきました！」

—12 医療圏活動紹介第2回：区西部医療圏（慶應大学病院）

— 各記事の前の ●は活動報告、○は今後の予定 表題の&lt; &gt;はシリーズ開催です —

## 【1】TKK活動

\* \*

## ●2018年度TKK理事会・総会 6月24日 「東京セントラルユースホステル 会議室」

理事会及び総会を開催し29年度実施事業・決算報告、30年度事業予定・予算他を審議。吉岡千鶴子理事が退任し増村幸子氏が理事に就任、高橋俊夫理事が監事に就任する役員人事とともに全ての議案が承認されました。

## &lt;2018年度高次脳機能障害 実践的アプローチ講習会&gt;

## ●第1回 5/27開催 慈恵医科大 大学1号館講堂3階

==== 6年目の今年も、北は北海道、南は九州から、高次脳機能障害者への実戦的対応について学ぶため、全国から熱心な受講生が参加しました。講義内容は、① 菅原 誠氏（東京都立中部総合精神保健福祉センター副所長、精神科医）：[高次脳機能障害者の就労と復職に向けた精神科リハビリテーション]。② 廣實真弓氏（帝京平成大学言語聴覚科、言語聴覚士）：[高次脳機能障害のある方のコミュニケーション障害の特徴とその対応]。③ 中村美恵子氏（東京中央障害年金相談センター所長、特定社会保険労務士）：[高次脳機能障害の障害及び労災認定の流れとポイント]。④ 渡邊 修氏（東京慈恵会医科大学附属第三病院リハ科、医師）：[事例検討：困難事例について会場の皆さんと討論会=脳動静脈奇形破裂の既往歴がある方の交通事故による脳挫傷事例]等々であった。

====TKK理事長 細見みゑ

## ○第2回 9/16（日）

① 和田 義明氏（日産厚生会玉川病院/脳神経内科/医師）：[高次脳機能障害を支援する上での医療機関の役割]

② 廣瀬 綾奈氏（千葉リハビリテーションセンター/言語聴覚士）：[高次脳機能障害のある子どもへの支援]

③ 東京障害者職業センター多摩支所ご担当者：[高次脳機能障害のある方への就労支援]

④ 川邊 循氏（世田谷ボランティア協会ケアセンターふらっと/施設長）：

[地域での私の暮らし方 ～ケアセンターふらっとでの高次脳機能障害のある人への支援の考え方と実践]

## 第3回, 12/9日（日）

内容、申込み等の詳細は：[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=190](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=190)

## &lt;医療及び家族相談会&gt;

●第1回：4/15、第2回：7/8 開催

====両日共、3組ずつの相談があり、それぞれ1時間ずつ時間をかけて、医師と経験豊かなTKK家族相談員が、治療、リハビリ、障害等級、手帳、年金、労災事案、脳外傷損害賠償事案等々について多岐にわたる相談支援に預かりました。本相談会は東京都内のみを対象としていないので、相談者の方々は都外からも大勢来られます。また最近、各自治体や医療機関、福祉機関、都心障から紹介されて来られるかたも多くなっています。== 細見みゑ

○以降、次の日程、会場で開催します。

・8/26(日)/会場A ・10/14(日)/会場B ・11/25(日)/会場A ・2019年2/17(日)/会場B

【会場A】東京都心身障害者福祉センター (東京都新宿区神楽河岸1-1)

東京都飯田橋庁舎(セントラルプラザ)12階 高次脳支援室 又は 研修室

【会場B】東京慈恵会医科大学附属第三病院 2階会議室 (東京都狛江市本町4-11-1)

詳細は：[http://www.brain-tkk.com/index/show\\_information.php?boardAct=view&readNum=189](http://www.brain-tkk.com/index/show_information.php?boardAct=view&readNum=189)

### ●高次脳機能障害支援に関する法制化についての勉強・研修会

7月25日(水)夜、港区「神明いきいきプラザ」集会室にて。

・内部勉強会 ・外部講師による研修会：「高次脳機能障害者支援法(仮称)は必要か」講師：又村あおい氏。

---

## 【2】加盟団体の活動

\*\*\*

---

●主催：杜のハーモニー♪ 「杜の仲間たちコンサート」6月23日(土) 希望の家深大寺

====普段とはちょっと違う世界を垣間見た。それは、緑多い深大寺のそばの築浅い福祉施設での小さなコンサートでした。中心の出演者は歌うことが好きなお二人、何度も練習を重ねたと感じられる歌を披露してくれました。そのお二人に寄り添うピアノ演奏の方、部分で盛り上げる数名のお仲間達。そしてお二人を支える司会者という構成で繰り広げられた1時間半。若い男性の綺麗なカウンターテノールの声、若い女性の丁寧な澄んだ声。途中、つかえたり声小さくなったり、小道具を持って動作をつけて歌った曲では小道具の中身が飛んでしまうハプニングもありました。でもそれが逆に微笑ましく、かえって部屋の中の空気を和らげてくれました。その日、外はしとしと雨降る天候でしたが、歌声は心にじっくり流れ込み、大勢の観客が来られていましたが、静かな時間を味わうことができました。コンサートを支えた方達の実行力に感心した今回の鑑賞でした。当事者に寄り添うことの一つの見本を見させて頂きました。==== 「みなと高次脳」代表 高井玲子

○主催：ハイリハ東京、ハイリハJ0 Bの集まり。日程は8月

詳しくは、小澤京子さんまで 03-6416-0746

○主催：いちごえ会

第17回交流会 8月26日13:30より 小金井市前原暫定会場

参加費無料、どなたでもご自由に参加できます。

第1部 自己紹介、第2部 体験発表 夏の思い出、やりたいことなど

◇申し込みはこちらから：<https://ichigoe.org/archives/2284>

○主催：高次脳機能障害者と家族の会

■8月交流会（ボウリング&ランチ）

8月5日（日）10：45～14：00 笹塚ボウル3階（渋谷区笹塚1-57-10） 京王線笹塚駅すぐ

参加費：2,000円（会食のみは1,000円）

申し込み：Fax 03-3200-8970

■高次脳機能障害者と家族の会 20周年記念シンポジウム

9月9日（日）13：30～16：30 エッサム本社ビル 3階 グリーンホール、申し込み：不要

1) 2) とも、お問い合わせは太田まで（03-3200-8970）

○主催：みなと高次脳

■定例会 8/11(土)12:00～15:00 高輪区民センター会議室

レストランにてランチを食べてから防災勉強会と、秋の障害者センターでの「ヒューマンぷらごまつり」販売物品製作、次回の「交流 cafe コウジノー・コーナー」の打ち合わせ、情報交換など。

■定例会 10/13(土)予定 外出訓練支援（貸切バスで日帰り外出、場所は8月中に決定）

例年東京を離れていい空気を吸い、産地の昼食を味わい一日掛けての会員同士交流の機会になっています。

○主催：コージーズ、世田谷ボランティア協会

■「世田谷高次脳機能障害の今を振り返る」 8月24日18：30 三軒茶屋シャレナードホールオリオン

25年間の高次脳機能障害支援、そしてこれからの支援の在り方を和田義明医師と語り合います。

■「エテ・マルシェ」 8月25日15：00 世田谷ボランティア協会

高次脳機能障害を知っていただきながら、ライブ+美味しく飲んで、食べて！

○主催：ハイリハジュニア

■8月30日 ディズニーランド例会

■10月 オービー横浜または森ビルデジタルアートの外出予定

○主催：言語生活サポートセンター、失語症カフェ ワックル

① 8月19日 失語症カフェ ②9月16日 家族ワックル(予定) ③10月21日 失語症カフェ(予定)

いずれも場所:言語生活サポートセンター、時間:13：30～15：30

○主催：高次脳機能障害者と家族の会 あきる野「こーゆう」、10月10日(水)14:00～あきる野市ふれあいセンター

高次脳機能障害のある方への理解 =居場所づくりとボランティアの配慮=

講師 西多摩高次脳機能障害支援センター OT 工藤 美和 氏

==あきる野「こーゆう」初の講演会です。私達の名称は、高次脳機能障害者と家族の会ですが、当事者との交流は、年2回だけで普段の例会は家族向けでした。昨年から退院後、デイ・復職・作業所等制度を使わず家にいる当事者の方の居場所づくりを模索していました。少人数ですが、月一でグループワークを始めました。7/18より、交流親睦を兼ねて、「囲碁・将棋・麻雀・チェス・オセロをしよう」が始まります。ルールわかるボランティアさんがいるといいね、ということから社協さんに相談したところ上記の講演会をすることになりました。当事者さんから「おしゃべり会」も求められています。人手が欲しいので、是非ご協力を。==あきる野「こーゆう」藤原みどり

○主催:杜のハーモニー♪ 杜のマルシェ♪（当事者・家族・地域の皆さまの手作り市）

9/7（金）～9（日）10:00～17:00（初日は12:00より/最終日は15:30まで） 曼珠苑ギャラリー（調布市深大寺山門近く）

○主催：フォーラム大田高次、第6回首都防災ウィークイベントに高次脳機能障害と囲碁&心の唄コンサート参加  
9/8（土）10:00～12:30 囲碁定例会、13:00～14:30 鎮魂のピアノ &心の唄コンサート  
両国横網町公園 東京都慰霊堂（両国駅徒歩5分）

○3区（大田区、品川区、目黒区）合同イベント、9月30日（日）13:00～大田区障害者サポートセンター5F  
「あきらめないで！笑顔になるまで」 — 当事者、家族のキセキ —  
第1部 講演 講師 牧田総合病院 作業療法士 高次脳外来担当 高橋由紀氏  
第2部 当事者 家族座談会 荒井隆浩さんとお母さま&支援者

---

### 【3】行政、他団体の活動

\*\*\*

---

#### ●東京都 第23回「高次脳機能障害者相談支援体制連携調整委員会」

7月9日夜、東京都心身障害者福祉センター12階会議室

====委員会は、学識経験者、医療機関、都医師会、精神保健機関、教育機関、就労支援機関、福祉関係、区市町村、当事者団体（TKK）の各委員で構成され、東京都心身障害者福祉センターや東京都精神保健医療課から、高次脳機能障害支援普及事業の平成30年度事業実施計画、29年度実施状況、小児の高次脳機能障害に関する取り組みについてなどの報告があり、議論された。TKKからは、委員として理事長の細見みゑ、傍聴として副理事長の蔵方律子及び小澤京子、理事の伊地山敏が出席した。

==== 細見みゑ

#### ●東京都総合高次脳機能障害研究会、7/22（日）、東京慈恵会医科大学 大学1号館講堂

共催：東京都総合高次脳機能障害研究会、区中央部高次脳機能障害支援普及事業

基礎編①渡辺 修氏（東京慈恵会医科大学附属第三病院リハ科/医師）：「高次脳機能障害のある方のマネジメントの基礎」、②西脇恵子氏（日本歯科大付属病院言語聴覚室長/言語聴覚士）：「社会的行動障害の基礎」、③富田正男氏（藤田衛生大学リハ学科/理学療法士）：「身体運動から情動、発動に働きかける～運動学習理論の再検討～」。④峯尾 舞氏（北原国際病院/作業療法士）：「高次脳機能障害のある方への就労支援の基礎知識」。応用編として、⑤4事例（成功例、難事例）の報告と検討会

==非常に専門性の高い内容で受講生は専門家や支援者がほとんどであった。特別講演：富田正男氏の、高次脳機能障害を改善させるために、身体運動から間接的にアプローチする方法の紹介は非常に印象深かった。=細見みゑ

#### ●北多摩南部医療圏地域支援研修会 主催：慈恵医大第三病院リハビリテーション科

7月29日（日）午後、調布市総合福祉センター 会議室（調布市小島町2-47-1 調布駅下車南側）

・講演 英国に学ぶ、高次脳機能障害に対する神経心理学的リハビリテーション

神奈川リハビリテーション病院 青木重陽 先生

・支援事業所・施設報告— 武蔵野市のMAP 収載事業所紹介

①高次脳機能障害 ゆいっと ②アビリティーズジャスコ武蔵境センター ③ジョブアシストいんくる

・事例検討 先天性心疾患に起因する低酸素脳症を呈した学生への支援

東京慈恵会医科大学附属第三病院 池田久美先生

====青木先生のご講演は、英国 ケンブリッジ州 オリバーザンギルセンターにて、1年間、後天性脳損傷（日本の高次脳機能障害に近い概念）者のリハビリについて学んでこられたことの報告であった。英国は、日本と違い、病気や怪我で中長期的に職場を離れると解雇になるので、高次脳機能障害者の復職率は非常に低いとのこと。これは、生きる事の価値観に関して、仕事に対する比重が小さく、自分らしく生きることの方が大切、という文化の違いが影響しているとのこと。まとめとして、高次脳機能障害は、認知リハだけでなく、広い視点で見る神経心理学的リハが求められる。包括的、全人的、他職種間アプローチなどがキーワードで、つまりは、高次脳機能障害は複合障害であるという概念が強調されるべきと思う、と述べておられた。====細見みゑ

○高次脳機能障害出張相談会 9月1日（土）13:30～15:30、  
新宿区落合第一地域センター3F 第2会議室（新宿区下落合4-6-7）  
ピア相談員：新宿高次脳機能障害者友の会アンサンブル会員、専門相談員：高次脳機能障害なんでも相談メンバー  
◇お申し込み：（03-5849-4831 NPO 法人 VIVID 池田）

○区中央部高次脳機能障害 合同研修会、9/11（土）、14:00～16:40、慈恵医大1号館講堂3階  
① 症例検討会：羽田拓哉氏（石和共立病院/医師）、斎藤玲子氏（慈恵医科大学/言語聴覚士）  
② 専門職研修：田邊淳介氏（（株）ヒューマンウェイブ/社長）…「人材派遣会社から見た障害者雇用について」  
③ ディスカッション  
詳細は：<http://www.jikei-reha.com/?p=6208>

○高次脳機能障害講演会「医療と連携。リハビリから就労へ」9月30日（日）、13:00～16:00  
浜離宮朝日ホール（小ホール）、主催：朝日新聞厚生文化事業団  
① 基調講演：「高次脳機能障害のリハビリテーション」、講師：橋本圭司氏（はしもとクリニック経堂院長）  
② 対談：「更なる挑戦」、石井雅史氏（パラサイクリングで20年東京パラリンピックを目指す）/橋本圭司氏  
③ シンポジウム：「医療と連携。リハビリから就労へ」  
瀧澤 学氏（神奈リハ）、納谷敦夫氏（なやクリニック）、野々垣睦美氏（すてっぷなな）、深津玲子氏（国リハ）

○共催：調布市社会福祉協議会と杜のハーモニー♪、「高次脳機能障害の夫とともに生きる」  
10月20日（土）13:00 開場 13:30～15:30 調布市総合福祉センター201～203 室  
講師：柴本礼氏  
◇締切り：10/15 ◇申し込み：調布市社協ドルチェ 042-490-6675

○港区高次脳機能障害理解促進事業（TKK 受託事業）  
1) 高次脳機能障害 講演会 平成30年10月21日（日）13:30～16:30  
2) 高次脳機能障害 研修会 第1回目 平成31年1月23日（水）18:30～20:30  
3) 高次脳機能障害 研修会 第2回目 平成31年1月30日（水）18:30～20:30  
会場はいずれも、港区立 リーブラホール（みなとパーク芝浦1階）

○港区福祉イベント  
■『H30年度ヒューマンぷらざまつり』10月28日（日）10:00～15:00

会場：港区立障害保健福祉センター バザー・自主性作品販売・展示・地域の活動発表・模擬店など。

■『第3回港区地域福祉フォーラム（港区社会福祉協議会主催）』10月20日（土）～21日（日）10:00～16:00

会場：高輪区民センター全館 地域福祉活動団体の紹介とパネル展示・講演会・福祉貢献と功勞の表彰式など。

○国立障害者リハビリテーションセンター 障害工学研究部 主任研究官 中山剛氏の研究発表

高次脳機能障害者・失語症者に対するコミュニケーション支援ボードの有用性に関する研究がエコモ財団のHPで公開されました。 [http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfjyosei/2016/bfjyosei\\_2016.html](http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/bfjyosei/2016/bfjyosei_2016.html)

-----∞  
**【4】行ってきました、聞いてきました！ -12 医療圏活動紹介第2回：区西部医療圏（慶應大学病院） \*\***

東京都高次脳機能障害支援普及事業における各12医療圏で実施している活動及び事業の紹介シリーズ。

第2回は区西部医療圏 をレポートします。

<報告者：TKK 理事 太田三枝子・池田敦子>

-----∞  
**区西部医療圏連絡会（新宿区・中野区・杉並区）**

拠点病院：慶應義塾大学病院

事業開始：平成27年度

地域の特徴/支援施設等	主な活動/業績
新宿区・中野区・杉並区にまたがる医療圏、全人口は合計125万人以上に達する。  高次脳機能障害支援事業は、新宿区はNPO法人に、中野区は相談事業をNPO法人に委託、杉並区は全ての事業を区で主体的に取り組んでいる。	■圏域内の事業実施団体及び東京都心身障害者センターも参加し、慶應義塾大学病院リハビリテーション医学教室で年3回の連絡会を開催している。2015年度研修会と症例検討会、職業評価バッテリーの紹介、自動車運転適性評価機器紹介など。2016年度症例検討会、研修会、社会資源マップ作成のための施設へのアンケート調査、2017年度研修会、症例検討会、地域資源マップづくりを行い2018年3月に第1版が完成した。  ■地域資源マップは、高次脳機能障害のある患者をサポートしている病院、機関、施設などの情報を集め作成し、支援機関に配布すると同時に、支援機関が拠点病院に蓄積した情報を使えるように相談窓口を設置した。患者・当事者に直接配布することは目的にしていない。  ■地域資源マップの掲載施設の提供しているサービス自体は、そこに問い合わせをして確認するような情報レベルで掲載した。2018年度は資源数を増やし、当事者を支援する側が情報を得やすい内容にして第2版を作成する予定。

●村岡香織先生（慶應義塾大学病院リハビリテーション科医師）

2018年6月14日（木）インタビュー

（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室にて）

**【区西部医療圏拠点病院としての役割】**

高次脳機能障害は、当事者もどうしたらよいのかわからないと感じていたり、病院も十分な対応ができないと苦慮していることが多いという現状を捉え、東京都が高次脳機能障害関係者を支援する仕組みとして、拠点病院を定め取り組んでいます。



以前から病院間の連携はある程度できていましたので、この事業により拠点病院が病院以外の地域の支援機関と連携することで、繋がりにくかった地域と病院の架け橋を作ることができるようになりました。

新宿・中野・杉並の3区の特徴としても、規模が大きい病院が多く、地域との繋がりが少なくなりがちであったと思います。リハビリを受けたいと病院に行っても、その方が求めるリハビリは提供されていないということもありますし、医師の移動も多く専門性が高い病院という情報で受診してみると、高次脳機能障害を診ることができなくなっていたりすることがありました。支援を得たい人の希望に応えられるように、拠点病院に窓口を設置し、そうした細かな・アップデートな情報を個別の相談内容に応じて提供できるようにしました。

#### 【どのような情報を提供しているか】

一つはすでに病院発信でできている病院間の連携の仕組みから把握している情報です。病院にリハビリ科の医師がいるか、外来リハビリを行っているか、などです。それに加えて、地域の情報を集めるために3区内の病院・クリニック（精神科・神経内科・リハビリ科）約200か所、主に精神障害に対応している福祉事業所及約60か所、地域包括支援センター・介護支援事業所約900か所、合計約1150か所の支援機関にアンケート調査を行いました。症例検討会や研修参加の呼びかけを行う際に、「高次脳機能障害のリハビリをしているか」といったようなことを、地域資源マップへの掲載の了解も含めてアンケートをとり、幅広く地域の状況を把握しました。

病院の情報を例にとると、圏域内にリハビリ科をもっている病院は30か所くらいありますが、相談者の多岐にわたるニーズに、今、どの病院が最も適しているかということ支援機関の方が一件ずつ調べたり打診したりすることは大変です。相談窓口では、相談者の状況やニーズをお聞きし、把握している病院やその他の支援機関の情報を生かして「今の状況であればこの病院を受診するとよいのでは」といったこと抜き出して支援機関に伝えることができます。

#### 【今後の資源マップ改訂について】

高齢者の高次脳機能障害のサポートができるよう、介護保険の事業所などの情報を充実させたいと思っています。更に、高次脳機能障害をサポートできる支援機関が増え、マップが充実するよう、地域のリーダー的な機関と共に地域に積極的にでていきたいです。また、支援者の方にはマップだけでなく、相談窓口も活用いただきたいです。マップ作成にあたり集積した情報を基に、中間的な立場で、支援機関をご紹介します。

以上